

一所懸命

横浜市立上の宮中学校 第3学年
平成20年4月14日発行
学年通信 第1号

新しい出会い，そして新しいスタート

保護者のみなさま，はじめまして。3年学年主任を務めることになりました北村明裕と申します。3学年の職員は，私も含めて4人の新しいメンバーが他校から加わり，職員構成が大きく変わりました。今までの上の宮中学校のよいところは大切にしながらも，積極的にいろいろなことに挑戦して，新しい風を3学年に吹きこみたいと考えておりますので，どうぞよろしくお願いいたします。

さて，学年通信を発行するにあたり，タイトルを「一所懸命」としました。この言葉は『一所（その場その場）に命を懸ける』という意味です。「一生懸命」という言葉が一般的には使われますが，『一生という長い期間に命を懸ける』よりも，『ある一瞬一瞬に全力を尽くす』という意味が私は好きなので，この言葉を使うことにしました。

中学時代は授業，部活動，行事等，生徒が活躍する機会が数多くあります。3年生はその集大成の年です。どの場面でも全力を尽くして，納得のいく1年を過ごしてもらいたいと思います。私たち教職員も生徒とふれあう「その場その場」を大切に，よりよい方向に引っ張ってまいりますので，ご支援ください。

大切にしたい3つのこと

生徒のみなさんには学年集会で話しましたが，今年は上の宮中学校の創立30周年にあたり，3年生は30回目の卒業生になります。その記念すべき卒業式を最高のものにするために，3つのことを大切にしたいと考えています。

- | | | |
|----------|----------|----------------------|
| ①授業を大切にす | ②けじめをつける | ③自分たちのことは自分たちで行う（自治） |
|----------|----------|----------------------|

①の「授業」ですが，やはり学校は授業が基本です。特に進路のことを考えると，今年は今まで以上に学習環境を大切にしたいと思います。私たちも魅力ある授業づくりに励みますが，生徒のみなさんも授業に集中する雰囲気をつくりあげてください。

②の「けじめ」ですが，これは更に「安全」「時間」「私語」の3つにこだわってほしいと思います。3年生は現在200名の生徒がいますが，誰一人欠けることなく，卒業式を迎えたいと考えます。そのためには，「やってよいことと悪いこと」のけじめをしっかりと，安全面に配慮した生活をしてください。また，社会にでると時間を守らない人は信頼をなくします。義務教育最後の年に時間を守る習慣を身につけてほしいと考えます。具体的には遅刻，チャイム着席を気をつけましょう。「私語」ですが，3年生では進路や修学旅行等で，とても大切な情報を伝える場面が今まで以上に多くなります。こんな時に全体が騒がしいと，取り返しがつかない間違いがおこる可能性もあります。授業を大切にするという視点からも「私語」のけじめはしっかりとつけましょう。

③の「自治」ですが，みなさんは20歳になると成人になります。学校の先生や保護者の方の指示に従って生きるのではなく，責任を伴った自らの意思でこの社会をつくりあげていくことになります。誰かが与えてくれた環境で生きるのではなく，自らが主人公となり，社会を築いていくのです。これはなかなか大変なことです，その練習を中学校生活でしてほしいと考えています。「自分たちのクラスや学年をどのようにしたいのか」「そしてそのためには何を改善しなければならないのか」そんなことを一人ひとりが考えて議論しながら，よりよいクラスや学年をつくってほしいと思います。

各種委員会の委員を決めるときに立候補者は「何をしたいのか」を演説し，選挙をして委員を選出しましたが，選ばれた委員はクラスの代表者として全体の幸せのために活動し，選んだ生徒は代表者が決めたことに多少不満があっても，自分たちが選んだ代表者が決めたことを信頼して生活してほしいと思います。これは自治を行ううえでの大切なルールなのです。